



様式1(主な取組)

活動指標名	青少年交流体験事業派遣児童数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	253人	269人	263人	7	35	120	29.2%	715	大幅遅れ	令和3年度は新型コロナ感染拡大防止の観点から、九州・兵庫とも県外派遣は行わず、県内での宿泊研修に変更し、県外とのオンライン交流を行った(兵庫は感染状況の悪化で宿泊は中止し、オンライン交流のみ)。35人の児童が交流事業へ参加し、イベントを通じて協調性やコミュニケーション力を育成した。
活動指標名					R3年度					
実績値										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										120人の児童を派遣予定であったが、新型コロナ感染拡大防止の観点から、県外での交流事業実施は困難であった。 県内での宿泊研修のプログラム内で九州・兵庫とオンライン交流会を行うイベントへ変更したが、参加人数は限られ、進捗状況は大幅遅れとなった。
活動指標名					R3年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの流行状況に応じた実施に係る判断基準及び実施の方法についてあらかじめ定め、広報等に要する時間を確保する。</li> <li>・県の広報誌等を活用するなど、引き続き周知広報に取り組み、事業の認知度向上を図る。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の流行の状況を注視しながら事業開催可否を直前まで検討していたことから、事業の周知広報等については十分な対応することが困難であった。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、事業実施の可否、及びその実施方法について、決定までに時間を要した。
- ・事業の周知の時間が不足していた。

##### ○外部環境の変化

- ・引き続き、交流先も含めた新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視する必要がある。
- ・幅広い年齢の児童・生徒が参加し、共同生活を行う研修は貴重な機会となっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・新型コロナウイルス感染症への対応について、流行の段階別に対応方針を検討し、事業実施の方法を早期に決定する必要がある。
- ・決定した事業の実施方法について、早期に周知し、幅広い年齢層の児童・生徒に研修を知ってもらう必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・新型コロナウイルスの流行状況に応じた実施に係る判断基準及び実施の方法についてあらかじめ定め、広報等に要する時間を確保する。
- ・県の広報誌等を活用するなど、引き続き周知広報に取り組み、事業の認知度向上を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成	施策	① 体験活動等の充実及び学校・家庭・地域の相互の連携・協力
			施策の小項目名	○地域特性を学ぶ取組
主な取組	沖縄平和学習アーカイブ運営事業			
対応する主な課題	①沖縄の子どもたちが豊かな心を形成し、生きる知恵、社会性、生まれ育った地域に誇りを持つ人格を形成していくためには、幼い頃から地域活動や体験活動を通して、より多くの人々と触れあうとともに、沖縄の自然、文化をはじめ、国内外の優れた芸術文化に触れる機会等の一層の充実を図る必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
戦争を知らない世代に対して、沖縄戦の歴史的教訓の情報を発信するため、これまで収集した沖縄戦体験者の証言等をデジタルコンテンツとして整備し、「沖縄平和学習アーカイブ」サイトにより、インターネットを通して発信する。						
実施主体		インターネットを通して沖縄戦体験者の証言映像等を配信				
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課					
	県					
	【098-866-2500】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 沖縄平和学習アーカイブ運営事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 沖縄戦体験者の証言等を本サイトを通して配信した。	
県単等	委託	1,461	921	1,071	1,200	523	902	県単等	OR4年度： 沖縄戦体験者の証言等を本サイトを通して配信する。平和学習等への活用を促進し、沖縄戦の歴史的教訓を次世代へ継承するため、広報を行う。	
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：	
		-	-	-	-	-	-		OR4年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	沖縄平和学習アーカイブ運営事業				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
	—	—	—	—	配信の実施	—	100.0%	523	順調	令和3年度は、年間を通してコンテンツ配信のためのサイトの公開を行った。	
活動指標名					R3年度						
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
	—	—	—	—	—	—					年間を通じてサイトの公開を行っており、達成割合は年間12ヶ月のうち公開12ヶ月間、12/12=100%とした。
活動指標名					R3年度						
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
	—	—	—	—	—	—					
(2)これまでの改善案の反映状況											
令和3年度の取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県のホームページ等を通して引き続き情報発信を行うとともに、関係機関と連携し、教員や平和ガイド等向けに活用法等を掲載したパンフレット等を配布し、アクセス数向上を図る。</li> <li>・関係機関と連携を図ることで、国内外に本サイトの周知や利用を促進する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・県（女性力・平和推進課、平和祈念資料館）のホームページを通じての情報発信を行い、平和祈念資料館に訪れる修学旅行生等に対して周知リーフレットを配布し、活用の促進を図った。</li> <li>・本コンテンツについて問い合わせのあった新聞や教科書出版社等に、本コンテンツの紹介を掲載してもらうことにより、周知及び利用の促進を図った。</li> <li>・平成30年度に一時運用を休止した際には、速やかな公開継続を望む声が多く寄せられ、また委譲希望する団体等もみられないため、引き続き県による公開を行っていく。</li> </ul>					



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・コンテンツのサーバーをクラウド化し、保守管理等の委託料コストが大幅に削減できたが、活用促進のための周知啓発を行う必要がある。

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症対策等により、インターネットを利用した平和学習などのコンテンツが注目されている。

・本土復帰50周年を迎え、沖縄戦の体験の継承について、社会の関心が高まることが予想される。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・平和学習のコンテンツとして、教員や平和ガイド等向けに活用法等を周知することで、アクセス数向上が図られるものと考えられる。

### 4 取組の改善案 (Action)

・県のホームページ等を通して引き続き情報発信を行うとともに、関係機関と連携し、教員や平和ガイド等向けに活用法等を掲載したパンフレット等を配布し、アクセス数向上を図る。

・関係機関と連携を図ることで、国内外に本サイトの周知や利用を促進する。